

# みなみまち協だより

第14号 平成31年3月15日

発行所：みなみまちづくり協議会  
高山市岡本町1-18 南小学校内  
Tel&Fax 34-0114

題 字：内木 能里子(八軒町2)



## 平成30年7月に溢れた仲谷川

平成30年は高山でも災害に襲われました。「平成30年7月豪雨」と名づけられた豪雨が高山でも猛威をふるいました。平成30年7月5日から降り始めた雨が、緑ヶ丘の丘陵、総合庁舎のある丘陵、

松倉中学校のある丘陵に囲まれた谷に一気に流れくんだり、国道41号線バイパス付近であふれてしまいました。幸いに家屋の浸水といった大きな災害にはなりませんでしたが、今後注意が必要です。

### にょい ざくら 句 桜

あだ名・ニックネームは他の人ともっと仲良くなりたいたいから付けるものです。本名で呼び合うより、ずっと親しみが湧く。

昭和二十九年九月十三日に、高山市立南小学校で開校五十周年の記念祝典が行われた。この時筆者は六年生で学芸会の劇の一員として参加した。  
劇は秋の虫の音楽会で、鈴虫やコオロギに混じって、私の役はクツワムシのガチャガチャ太郎。他の虫の美しい鳴き声の中で、私の声はガチャガチャとうるさいだけの不協和音。そこへ恐ろしいカマキリが襲って来て、私の悪い声で撃退ができた。以来七十年近く、私のあだ名はガチャのまままで今に続いている。この劇はよくできていた。ダメな虫でも除け者にしないで、皆で仲良く音楽会をしていた。私は私のあだ名を誇らしく思っている。南小学校の昔の話。

今の子どもはあだ名で呼び合うことはあるのだろうか。あだ名は決して他人の欠点を罵倒するようなものであってはならない。差別やいじめであってはいけません。「もっと仲良くしたい」ための愛称です。周囲の大人たちはここに十分に注意して見守りたい。  
また新学期だ。  
(中林利数)

## 新しい防災組織をたちあげて

みなみまちづくり協議会会長 黒田 久美子

まちづくり協議会が創立して四年が過ぎました。徐々に地域の方々に知られるようになって来た様子にうれしく思っています。でもまだまだ町内会に加入のない住民の皆様にはゆき届かないところがかかなりあり大変申し訳ないと感じています。

近年日本いや世界中あちらこちらでいろいろな災害が起こっている報道を耳にします。私達の地域でもいつとどんなことが起こるか分からないのが災害です。もし起こった時、皆さんはどう行動を取りますか。今年まち協では、地域で防災について地域のみなさんと学ぼうと地域づくり部の中に防災委員長を配



南小「防災教室」(7月)

置き、小学校・地域などで講演やワークショップの計画を立てていただき、実現しました。来年度はその次の段階をと思っていた矢先、防災委員長の深尾さんが急逝されました。

四月より総会を始め地域の皆様に自分の思いを話され、まじめで積極的で、本部からのお願ひも計画の中にすばやく取り組んで下さり本当に完璧にやっていただけでした。来年度も今年に続き次の段階へと思つて安心しておりましたのでとても残念でした。悲しみは絶えませんがご冥福を祈り私達は明日に向かって動かなければなりません。来年度の防災委員長さんも深尾さんに負けないくらいの方をお願いいたしました。きつと深尾さんの後を継いでみなみ地区の絆を強く結びつけていただけると思います。

皆さん自分の身は自分でさらにお隣り、ご近所力を出しあつて地域を守つていきましょう。来年度もいろいろな場で防災について学んでいただきたいと思ひます。ぜひ参加をしていただけることを願っています。今年度は、みなみまちづくり協議会にご協力、ご支援ありがとうございます。そして、また次年度もよろしく願ひします。

### 地域づくり部

## 今年度地域づくり部の動き

地域づくり部長 河合博昭

今年度始めて部長に就かせて頂きましたが、各町内活動費の補助(二十%補助)、外灯電気料の補助(九十%補助)等と事務処理がほとんどでした。

そういう意味において、特筆した事業としては、実際に体を動かした情報提供関連ではないかと感じます。各町内会より提供していただいた資料に基づいて、市の担当者ともち協役員に同行して、現場視察(三日間)した後、市よりの見積り提示により、まち協役員及び該当町内会長との協議により最終結論を出しました。

具体的には、本年度の提供物件は八町内会、三十一物件でした。その中から本年度該当物件を十三物件にしぼり、その見積り総額は、六千三百四十万円です。但し、市よりみなみまち協への割当て金額は、一千百万円ですので、該当町内会長と話し合い八物件に絞り込んで落ち着きました。

この事業は、長い期間をかけて各町内会長の理解を得ながら進めていく必要性が重要と思ひます。

(尚、情報提供とは、各町内の生



南地区ハザードマップ見直し意見交換会(8月)

活道路及び側溝等が老朽化や破損して補修が必要という情報を各町内会から提供していただいています。

もうひとつの大切な事業として防災関連事業があります。防災専門の講師を招いて、南小学校の皆さんへのわかりやすい講義や、家庭の中での防災準備の必要性を訴える講演をしていただきました。

本年度は全国各地区において甚大な災害被害が発生しました。高山地区でも被害が発生しており、他人事ではありません。地域住人一人一人自覚を持つて万が一の災害に備えましょう。

福祉部

今年度の活動を振り返って

福祉部長 飯山 碩志

福祉部の活動を振り返り活動ごとに説明します。

〈敬老会〉

事務局が前年を参考に名簿の作成し、福祉部員による町内会長さんへの名簿配布と今年度の対象者名簿及び出欠調査の依頼しました。九月上旬にハガキにて最終確認をし、福祉部員全員で本番を迎えました。

〈一元玉募金〉

年二回、六月と十月に実施しています。各町内へ福祉部員を通じ募金の依頼を行い、町内では班長さんをはじめ女性部、婦人会の方々によって皆様の善意を取りまとめていただいています。



古布切断 (11月)

〈古布・ペットボトルキャップの回収〉  
各町内会へ依頼し、古布とペットボトルキャップを回収しました。

〈ふれあい文化祭りサイクルバザー〉

皆様からまたまた有用な物品を提供して頂き、福祉部員によってバザーを行っています。提供して頂いた物品の中には高価なものもあり、価格をつけるのに申し訳ない様な気持ちになることもあります。提供頂いた物品は全て有効に活用させて頂くという事で、今年は福祉協議会の催し物に提供し処分することなく全て活用できました。今後もこのような所に気配りが必要と考えています。

最後になりましたが、地域見守り推進員の活動に触れておきたいと思えます。この活動は、命のバトン保持者、高齢者、障害者等弱者の方々を定期的に訪問し、見守っていかうと言うものです。始まってから五年を経過致し、ようやく地域の方々の理解を頂ける様になってまいりました。

福祉部はこのように地域の皆様のご協力と、共助によって成り立っています。これからも皆様と共にありたいと思っております。

今年度の

募金活動

高山社会福祉協議会へ寄付



一元玉募金

6月と9月の2回行い、総額125,014円となりました。

文化祭におけるリサイクルバザー

多くの品物をご提供いただき、さらに多くの品物をご購入いただきありがとうございました。おかげさまで11,260円の売上となりました。

古布・ペットボトルキャップ回収

皆様のご協力で集めていただきました。古布とキャップは、11月17日に福祉部員12名の協力により、布の切断、ダンボール箱詰め、キャップの整理とビニール袋詰めを行いました。

古布、石峡は8カ所の介護老人施設、アルカディア、それいゆ、新宮園、豊楽園、南風園、向陽園、はなさと、宙へ寄付しました。施設の方々も大変喜ばれておりました。

キャップはサンタの倉庫さんを通じ「世界の子供達へワクチンを日本委員会」に送り、ワクチン購入のための支援を行いました。

集めていただいた募金は、12月23日、歳末助け合い運動、高山社会福祉協議会へ68,000円ずつ寄付を致しました。

皆様のご協力ありがとうございました。

平成30年度 福祉部・募金一覽

	事業名	金額(円)
募金	一元玉募金	125,014
	リサイクルバザー	11,260
	前年度繰越金	5,360
	<b>募金合計</b>	<b>141,634</b>
寄付金	歳末助け合い運動	68,000
	社会福祉協議会	68,000
	<b>寄付金合計</b>	<b>136,000</b>
	残金(来年度繰越)	5,634

社会教育部

ご参加ありがとうございました

社会教育部長 遠藤 伸子

本年度も社会教育部の主催事業にたくさんの方が参加してくださり、盛況のうちに終えることができ大変感謝しております。(下表参照)

長寿会事業の「あんしん・あんぜん講座」は三地区に分けて行い、健康寿命と交通安全の講話に熱心に耳を傾けて下さいました。

体育行事事業の「グラウンドゴルフ大会」は丹生川ひろ野で開催しました。教養講座事業の「クラフトテープかごバッグづくり」は四年間続いていきます。今年から新たに「ほろ酔い日本酒講座」を始めました。全七講座にのべ百二十七名の方に参加いただきました。



寄せ植え講座 (10月)

	月	事業名	参加人数
長寿会事業	12月	あんしん・あんぜん講座	113名
	5月	グラウンドゴルフ大会	41名
体育行事事業	10月	松倉山ウォーキング	17名
	11月	3地区合同ボウリング大会	27名
	2月	みなみボウリング大会	69名
	7月	クラフトテープかごバッグづくり	15名
教養講座事業	8月	ほろ酔い日本酒講座	12名
	9月	ハーバリウム講座	12名
	10月	寄せ植え講座	11名
	11月	陣屋めぐり	26名
	12月	親子花もち作り教室	25名
	1月	新春ワイン講座	26名
	参加のべ人数		

その他に花里・山王両まち協との三地区合同ボウリング大会も行われ、みなみまち協からは二十七名が参加しました。

ふれあい文化祭ではバザーとスポーツ交流会を担当し、教養講座での作品を展示させていただきました。

年間を通して様々な事業を開催しましたが、多くの方に関心を持っていただきありがたく思っております。今後ともご意見、ご要望がありましたらいつでも事務局まで声をお寄せ下さい。

青少年部

一年を振り返って

青少年部長 田中 育宏

青少年部の部長となり二年目。一年目は右も左も分からず、常に皆さんにフォローしていただきながら取り組んできました。そんな中で前年度から引き継がせていただいた事業の素晴らしさを知り、まちづくり協議会の役目を知り、地域の皆様の温かさを知りました。同時に事業を開催していく上での大変さも知りました。その一年目を経て、今年度はしつかりと事業を引き継いでいきながらも今までチャレンジしたことのない、青少年部らしい楽しい事業を新たに設けさせていただきました。

これまで同様に開催させていただいた南小学校での土曜教室「子ども体験教室」。毎年子どもたちの参加もあり好評を得ています。また地域の方が先生役になることで、地域の繋がりを深めることにもなり、充実した事業となっております。

十月には学校の教育公開日後に開催される「ふれあい文化祭」では高山工業生による工作教室が毎年反響を呼び、整理券配布に列をなす状況ですが、前年度のような混乱はなくスムーズな設営ができました。



乗鞍親子日帰りバスハイク (8月)

謝しています。

今年度新たな事業として「乗鞍親子日帰りバスハイク」と題して乗鞍畳平まで行ってまいりました。参加者は四十名ほどとなりました。当日は雨予想でしたが晴間ものぞく天候となり、皆さんと楽しい時間を共有することができました。高山市内でありながら大半の方が登ったことのない乗鞍です。子どもたちに少しでも高山の自然を知ってもらいたいと思いつき企画し、帰りにはみんなの笑顔を見るのが嬉しく思いました。

今年一年間ありがとうございました。

防災について地域みんなで学ぶ

# 地震発生後の避難行動の



南地区防災講演会 (平成30年11月9日開催)  
「家庭でできる究極の減災とは?」  
講師 村岡 治道さん  
(岐阜大学地域減災研究センター 特任准教授)

# 注意点!

「とにかく避難場所・避難所」と  
思い込んで直ぐに  
移動することは危険!

余震が続いている時や、  
夜(暗闇)に移動する事は危険!



平成30年北海道胆振東部地震は午前3時でした。熊本地震は夜9時発生。

- 避難ルート上の倒壊家屋、ブロック塀、看板などが余震で倒壊・転倒・落下し、下敷きになるかも・・・
- ガラスや釘を踏むかも・・・

近くの空き地などに避難



急いで避難所へ行っても、安全が確認されるまで入れません!

- 無理に遠くへ移動しないで! ただし、火災時には火事現場や風下から離れることが必要!
- 大雨が続いて地盤が緩んでいるタイミングで地震が起こったら、土砂災害が起こるかも・・・



大雨の場合は速やかに安全な所へ移動。避難所? 自宅2階?

平成30年北海道胆振東部地震で大規模土砂災害発生。

- 津波が来る地域なら、直ちに逃げないと・・・
- 安全宣言が出るまで危険地域や危険な家屋から避難し続けることも必要←→避難解除を素人判断することは厳禁!



熊本地震では自宅に戻った方が、2度目の震度7で犠牲になっています。

あなたと家族に必要な避難の手順と  
移動先、避難ルートを考えておいて!

手ぶらで移動しない!

- 夏なら水、冬なら防寒具などを持って行こう!
- 持病の薬やお薬手帳、補聴器と予備電池、入れ歯ケースと洗浄セット、飲食を支援する物品(哺乳瓶や高齢者用の自助具など)はいるのでしょうか?
- 私専用のトイレなども忘れないで!
- 避難所受付で提出する、個人登録カードを今のうちに記入して、非常用持ち出し袋に入れておくことも一案!
- 備蓄品を自宅や家具、飛散したガラスの下敷きにしない対策も不可欠です!



下敷きの物を無理に取り出そうとしないこと!  
余震で崩壊→下敷きになるかも!

自宅を守りきったなら、自宅で  
避難生活(在宅避難)できる!

無理に避難所で生活する必要無し!  
ただし、余震で自宅が壊れそうな場合  
家に留まることは危険!

- 危険な場合や不安を感じる場合は、我が家を離れて避難所へ避難するか、地元(被災地)から疎開することも一案!

在宅避難するなら、翌日でもいいので  
避難所へ出向いて「在宅避難者」として  
自治会に報告しましょう



心配しているかも・・・  
余力があれば避難所へ出勤して共助に  
参加しよう!

# みなみまち協 行事・活動 アルバム



## 美しい文字の 書き方講座 (書初め)

1月5日㊟(新宮小学校体育館) 午前9時～  
新宮・みなみ・三枝3まち協共同企画で開催されました。みなみからも小学生が参加しました。

## 新春ワイン講座

1月25日㊟(一本杉神社社務所) 午後7時～  
26名の方が参加されました。今回はスペイン産のワインとそれに合うチーズやパンなどを堪能しました。



## みなみボウリング大会

2月24日(プレイビー)  
午後1時30分～

69名の参加がありました。ストライクやスペアが出るたびに歓声があがっていました。

## 屋外設置の AEDが 南小に設置 されました。



南小学校 職員玄関入口左手にAED(自動体外式除細動器)が設置されました。

従来は屋内に設置されていましたが、施設時での利用を考え屋外への設置となりました。

もし、AEDを使用する場合は、扉を開け警報を鳴らしたままで周辺に知らせてください。

周辺地域の方も、AEDの警報音が聞こえたら駆けつけてご協力をお願いいたします。



扉を開けると  
警報が鳴ります!

## みなみまち協のお知らせ

# 「みなみまちづくり協議会」 5周年事業を企画してみませんか？

「みなみまちづくり協議会」(以下「みなみまち協」という)が平成27年に創立されて5年目を迎えようとしています。「まちづくり」という言葉は身近に聞かれるようになったと思いますが、それがいったい具体的に何を指すのか、いまひとつピンとこないのが皆さんの実感ではないでしょうか。

地域の皆さんに「みなみまち協」を身近に感じてもらう事を目的としたイベントを一緒に考え、運営してみませんか？多くの方が楽しんで、まちづくりというキーワードが心に

残るようなイベント。そんなイメージで2020年度に5周年事業を考えています。

まずは参加して楽しかったと思える催し物を一緒に作ってみませんか？参加することで、新しいつながり(出会い)が生まれます。あなたのアイデア、得意分野などで、力を貸して下さい。

2019年度に「みなみまち協5周年事業」の実行委員会を立ち上げます。我と思わんかたはぜひ仲間になって下さい。お問合せ、お申込はお気軽に「みなみまち協」事務局まで。

お申し込み・お問い合わせ・ご連絡

みなみまちづくり協議会(事務局)

TEL 0577 34-0114 (FAX兼用)

●平日/午前9時～午後5時

●メールアドレス: minami-machikyou@hidatakayama.ne.jp

## 定期総会開催のお知らせ

日時 平成31年4月23日(火) 午後7時～ 会場 高山市民文化会館・3階講堂

議案

平成30年度 事業報告・平成30年度 決算報告

平成31年度 役員改選・平成31年度 事業計画案・平成31年度 予算案 など

みなみまちづくり協議会規約第12条第2項により公開となっております。

また同第13条第1項により構成員は運営委員、理事、部会員となっております。

## 来年度役員の選任について

みなみまちづくり協議会規約第8条の規程により、以下のように選考委員を選出し、平成30年12月4日に選考委員会を開催しました。

選考委員

協議会役員から2名：石上 寛、神田 彰

協議会理事から3名：蒲 敏夫、丸谷 和俊、牛丸 英夫

選考委員長：石上 寛

選考結果

平成31年度会長として 黒田 久美子氏を選考しました。

広報部からのお願い

おすすめの「南地区の風景」

教えてください！

みなみまち協だよりも14号を発行するに至りました。

紙面の最初を飾る「南地区の風景」で写真を掲載してまいりましたが、題材選びではかなり苦労しています。

そこで、皆さんのお住まいの地域や南地区で、お奨めの風景があったら教えてください。

TEL 0577 34-0114 (FAX兼用)

●メールアドレス: minami-machikyou@hidatakayama.ne.jp

●ホームページは

みなみまち協

検索

ホームページの「問合せ」からメール送信(画像添付可)などで情報をお寄せください。

陣屋句会

文芸南俳句



おぼしまの磴の一步や法然忌  
春立つや木魚の音かろやかに  
山住みに春つけ鳥の来る日和  
水仙の香も日も入れて佛の間  
阿吽像の寺門は高し春北風

中家 富枝  
森本 喜恵  
小鳥 輝枝  
高木みつ江  
中嶋 文子

《陣屋句会からのお知らせ》

長い間みなみまち協だよりに掲載していただき有難う御座いました。私共の句会はいよいよ高齢となり句作りもままならぬばかりか恥多し句となる事も出はじめまして、今回で陣屋句会は終わらせていただきますと思いますのでどうか御諒承下さい。

色々ありがとうございます御座いました。陣屋句会 代表 小鳥 輝枝

葉月会

騷騒と背に被さる風邪の神  
飛石のここが結界春の雪  
土手に座る少女三人水の春  
葉のかをり共にいたたく桜餅  
立つ春の梢しなやかに雑木山  
柱背に春眠誘ふ午後二時  
湯豆腐の四角を掬ひ円く食ぶ  
口重き杜氏の古里春深し  
クロッカスの芽吹き跳ね上ぐる  
裏山の倒木に雉子ひかり  
一村を通り抜けたる春の川

安藤 桂  
上田真穂子  
栗田美由紀  
小林 高子  
紺谷健次郎  
下屋 孝雄  
瀬川 章子  
玉田 信哉  
保木 信子  
益田美貴子  
米澤 智子

編集後記

平成最後のみなみまち協だよりとなりました。(平成三十一年度最初の「ミニみなみまち協だより」は五月一日発行となり、新元号第一号となります。)

今年度は「災害」や「防災」という言葉を多く聞き・書いた年となりました。今後もしつ起こるか判らない災害に

備える知識を伝えていけたらと思います。一年間ありがとうございました。

私事で恐縮ですが、昨年十二月より事務局で午後を担当するパート事務員として働いております。水曜日を除く平日の午後は十七時までおりますので、南小へお寄りの節はお立ち寄りください。(神田)